



## みなと舎スタッフへのQ&A



みなと舎は2022年9月で法人が25年を迎えました。メンバーさんを支えるスタッフへみなと舎の魅力を再認識するため今回は芦名地区のグループホームとヘルパーゆうのスタッフにたまごむしがいくつかの質問をしました。

みなと舎には、2つのグループホームがあり、それぞれのグループホームに、メンバーさんが4名ずつで暮らしています。「ケアホームはなえみ」「ケアホームはなあかり」と素敵な名前がついています。メンバーさんは日中は「ゆう」に通所し帰宅後は、仲間と家族のように過ごしています。法人立ち上げの時から勤務しているグループホーム管理者の中田さん(勤務歴24年!)に聞いてみました。



普段はどのような仕事をされていますか?

**中田** 現在はケアホームの管理者をしています。最初は非常勤のゆうの支援スタッフから始まり、ケアホーム、ヘルパーゆう、ライフゆうを経験しました。ヘルパー資格を取って、ヘルパーのお仕事をしたり、ケアホームで夜勤もしました。



みなと舎の魅力を教えてください!

**中田** 最初に決まった仕事をするだけでなく、それが遠回りでも、メンバーさんの役に立つなら何でもしよう、勉強して頑張ろうという気持ちで、メンバーさん達がさせてくれます。



「ケアホーム」とは、どのような場所ですか?

**中田** メンバーさんやご家族にとって、親から自立して暮らせる場所です。

皆さんも、魅力あふれるみなと舎で、30年に向けて一緒に白いキャンバスに夢を描きませんか。

ヘルパーゆう管理者・求人担当 安田一之/支援センターライフゆう支援主任・求人担当 松浦明美



みなと舎  
WEBサイト採用情報



facebook



Instagram



Instagram

「国際ソロブチミスト横須賀」の皆様  
ご寄付ありがとうございました



みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ:山本・森下 TEL: 046-855-3911 FAX:046-855-3912

社会福祉法人「みなと舎」広報誌

# SSKU たまごむし

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直  
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17  
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912

新型コロナウイルスの流行により、ライフゆうのメンバーさんとの重度訪問外出で、公共交通機関の利用ができない期間が続いているが、そんな状況を逆に楽しもうと、日々メンバーさんと国際村周辺を散策し、重度訪問の時間を思いきり楽しんでいます♪そこで今回は、散策で発見した国際村の魅力や、素敵なお出会いを皆さんに紹介したいと思います！

6 つつじの丘

7 見晴らしの良い公園



## 国際村紹介マップ

~ぶらり国際村散策~



どすこい!  
国際村へ

季節のきれいな花々、かわいい動物たちとのふれあい、公園の楽しさ…

遠くへ外出できない今だからこそ気づけたこと、見つけたことがたくさんありました。

ぜひ皆さんも魅力いっぱいの湘南国際村にお出かけしてみてください。

ヘルパーゆうサービス提供責任者 田中紀子/ヘルパーゆう支援スタッフ 斎藤麻有子

Let's Go

# 夏のはなはなだより

ケアホームはなえみ・ケアホームはなあかり管理者 中田光子

8月13日(土)、恒例の「はなはなコンサート」を行いました。

Candy Nonさんのアルトサックスの演奏会。メンバーさん8人は、今回「ケアホームはなあかり」のリビングに集まり、短い時間でしたが午後の心豊かな時を過ごすことができました。「虹」や「HANABI」など知っている曲もあり、この楽器の音色が大好きなメンバーさんは、一番前で聞くのかなと思っていたら、ずっと後ろ向きでじっくり聞いていらっしゃいました。演奏が終わってからすぐに演奏者のCandy Nonさんの所へ行き、とても嬉しそうに「良かったよ」とお話をされているようでした。

この日の昼食は、以前、通所休みの日にも食べて美味

ケアホームはなえみ  
ケアホームはなあかり

しかったハンバーグセット。近所のこだわりのハンバーガー屋さんで、また買って来ました。夏休み最後の日は、暗くなってから庭先で手持ちの花火をしました。外で手に持てると良かったのですが…。暑いし、蚊もいるのでメンバーさんは部屋の中から見ました。

この夏は、より暑くなる前に各ホームとも調子の悪かったエアコンを付け替えることができました。また、訪問診察の時、メンバーさん8人は全員4回目のコロナワクチンを接種しました。

あまり遠い所へは遊びに行けませんでしたが、いつもの夏と変わらないくらい、色々な経験をし、全員夏バテをすることもなく過ごせたのが何よりも。



OISHI!

## 2022年・ゆうの夏

ゆう看護スタッフ 千田奈々子

今年の夏もゆうでは、沢山の素敵なイベントを開催しました。毎年恒例の梅仕事では、「おいしくなれ」と心をこめてシロップや梅干しを作り、虫捕り大会では、メンバーさん手作りの虫で懐かしい遊びを再現。テラスを過ごしやすくするオーナメントが新しくなり、庭いじりの野菜作りがしやすくなりました。畑では大きなカボチャも収穫されました。他にも、水遊びや、打ち上げ花火(壁画)づくり、スイカ割り大会、ゆうサマージャンボ宝くじと、盛沢山の夏でした。



# ライフゆう 納涼祭

ライフゆう看護主任(エンタメ係) 田中有

今年度、エンターテインメント係を発足して初めてのイベントでした。本当は地域のお祭りにも行きたいけれど、コロナ禍でここ数年それらしい雰囲気も味わえず…。では、施設内でお祭り気分を楽しもう!と、いうことで8月、出店風の催し物を考えました。男性は甚平と法被、女性は浴衣でかき氷を食べながら、くじ引きの特賞(外出券)は誰の手に!なんてワクワクドキドキ。太鼓の達人と風鈴の音色が聞こえ、フロア内はすっかりお祭り気分でした。コロナ禍でも今出来ることに目を向けながら楽しみました。



室内で出店気分!

## 「季節を味わおう!~梅雨/夏編」

ライフゆうラボ支援主任 里吉めぐみ

ライフゆうラボ



雨や暑さで、なかなか外にも出られない梅雨から夏の時期ですが、この時期ならではの楽しみ方で乗り切っています。

スタッフのお宅で収穫した梅とすももで、まずはシロップ作り。みんなで瓶に大きな実と氷砂糖を入れて、水分が出てきてからは皆で瓶をゆすって、出来上がりを待つのみです。予想以上に気温が上がり、発酵の危機と戦いながらも、見た目にも美しいシロップが出来上がりました。実は取り出してジャムに。皆でつぶして種を取り出したり、ハンドミキサーをかけて、電子レンジを使って調理しました。出来上がったシロップは炭酸で割ったり、かき氷にかけたり、ホットケーキを焼いてジャムをつけて食べたり…色々楽しんでいます!



## えだまめとハクセキレイ ライフゆう学齢デイ

ライフゆう学齢デイ「みらい」支援スタッフ 松代桃子

ライフゆう学齢デイ「みらい」では、毎年、プランターや花壇で野菜や花を育てています。今年は「えだまめ」に挑戦! 5月に種をまき、来所するメンバーさん(小学生~高校生)みんなで、水やりや雑草抜きなど、成長を観察しながらお世話をがんばっていました。ある日、いつものように水やりをしようとプランターをのぞくと…何と、鳥の巣が! 「これは何という鳥だろう? !」と調べたところ、どうやら「ハクセキレイ」の巣のこと。野鳥ですが様々な場所に巣をつくるそうです。

卵を発見してから2週間ほどで、ひながかえりました。それからさらに約2週間、3羽のひなたちの

成長を見守りました。毛が生えそろい、くちばしが黄色くなったころ、ピヨピヨ♪♪と大きな声で鳴き始めました。すっかり身体も大きくなり、狭くなった巣からひなたちが出てきました翌日、巣立っていました。空っぽになった巣は少し寂しくもありましたが、巣立った後すぐに、たくさんの枝豆が無事収穫できました。

成長しました

